

# 公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

## 大会名

2nd Youth Olympic Games

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
W32		2014	8	26	19:00	Youth Olympic Sports Park	1
チーム名	JAPAN	Full Time	2	—	5	チーム名	ARGENTINA
		Period1	0	—	0		
		Period2	0	—	3		
		Period3	2	—	2		

NO.	先発	背番号	氏名	Y	R
1	x	1	NAKAMURA Eika(GK)		
2	x	2	ASAI Yu		
3	x	3	KOZUKA Miki		
4	5	4	FUJIBAYASHI Chiko		
5	x	5	HOSHI Kimika(C)		
6	x	6	KAWAMURA Motomi		
7	4	7	KARINO Mami		
8	4	8	MORI Kanon		
9	5	9	TSUBOUCHI Moeka		

NO.	先発	背番号	氏名	Y	R
1	x	1	COSENUINO Cristina (GK)		
2	6	2	DICHIARA GENTILI Barbara		
3	x	4	TOCCALINO Sofia (C)	23	
4	3	5	TRINCHINETTI		
5	35	6	LOSADA Macarena (GK)		
6	x	7	RETEGUI Micaela		
7	11	8	THOME GUASTAVINO Delfina		
8	x	9	JANKUNAS Julieta		
9	x	10	ORTIZ Maria Paula		

監督 KOBAYASHI Kazunori

アンパイア MAKAR Ivona(CRO)

ジャッジ CORA XAVIER Viviana (BRA)

T. O. CASTRO Patricia (POR)

監督 del VALLE Carolina Elizabeth

アンパイア MAKAR Ivona(CRO)

ジャッジ BENNETT Saran(ZIM)

リザーブアンパイア ESCALANTE Ana(MEX)

チーム	時間	No	種	スコア
ARG	13	10	FG	0-1
ARG	17	8	FG	0-2
ARG	20	9	FG	0-3

チーム	時間	No	種	スコア
ARG	25	9	FG	0-4
JAP	27	4	FG	1-4
JAP	32	8	CH	2-4

チーム	時間	No	種	スコア
ARG	35	9	FG	2-5

3位決定戦は、プール戦で引き分けているアルゼンチンとの対戦であった。立ち上がり日本は積極的に攻撃を仕掛け、シュートまで持っていくチャンスを得るが得点に至らない。アルゼンチンも巧みなスティックワークで攻撃を仕掛けるが、日本も必死にゴール前を固め得点を許さなかった。第1ピリオドは、0-0のまま終了した。第2ピリオドに入つてすぐの13分に、日本ゴール中央の11m付近からアルゼンチンにシュートを打たれた。日本のスティックを弾いたボールをリバースヒットで決められ、アルゼンチンに先制される。リズムに乗ったアルゼンチンは、17分、20分と得点をし0-3と点差を広げられて第2ピリオドが終了した。3点差となった日本は、最後の第3ピリオドで勝負をかけ攻撃重視のフォーメーションで戦うが、ターンオーバーから逆に失点をしてしまい4点目を決められてしまう。それでも日本は必至にゴールを狙う姿勢をつくり27分には藤林がセンターライン付近からシュートを決め1-4とすると、32分には相手ゴール前の反則により日本にチャレンジが与えられる。これを森が確実に決め2-4とした。このままリズム乗つて攻撃を仕掛けたい日本であったが、終了間際にもアルゼンチンに決められ2-5で試合が終了した。この結果、日本は4位となりあと一歩のところでメダルを逃した。